

# 中央講演

特 249 48  
4  
467

昭和八年一月十五日發行 (昭和八年第一輯)

No. 15

## インフレーションと商品界

前大藏次官 田 昌氏講演

十二月廿八日於早稻田大學文學部講堂  
主催 早稻田大學法制經濟研究同好會



\* 0027149000 \*

0027149-000

特 249-467

インフレーションと商品界

田昌・〔述〕

東京中央講演会

昭和8

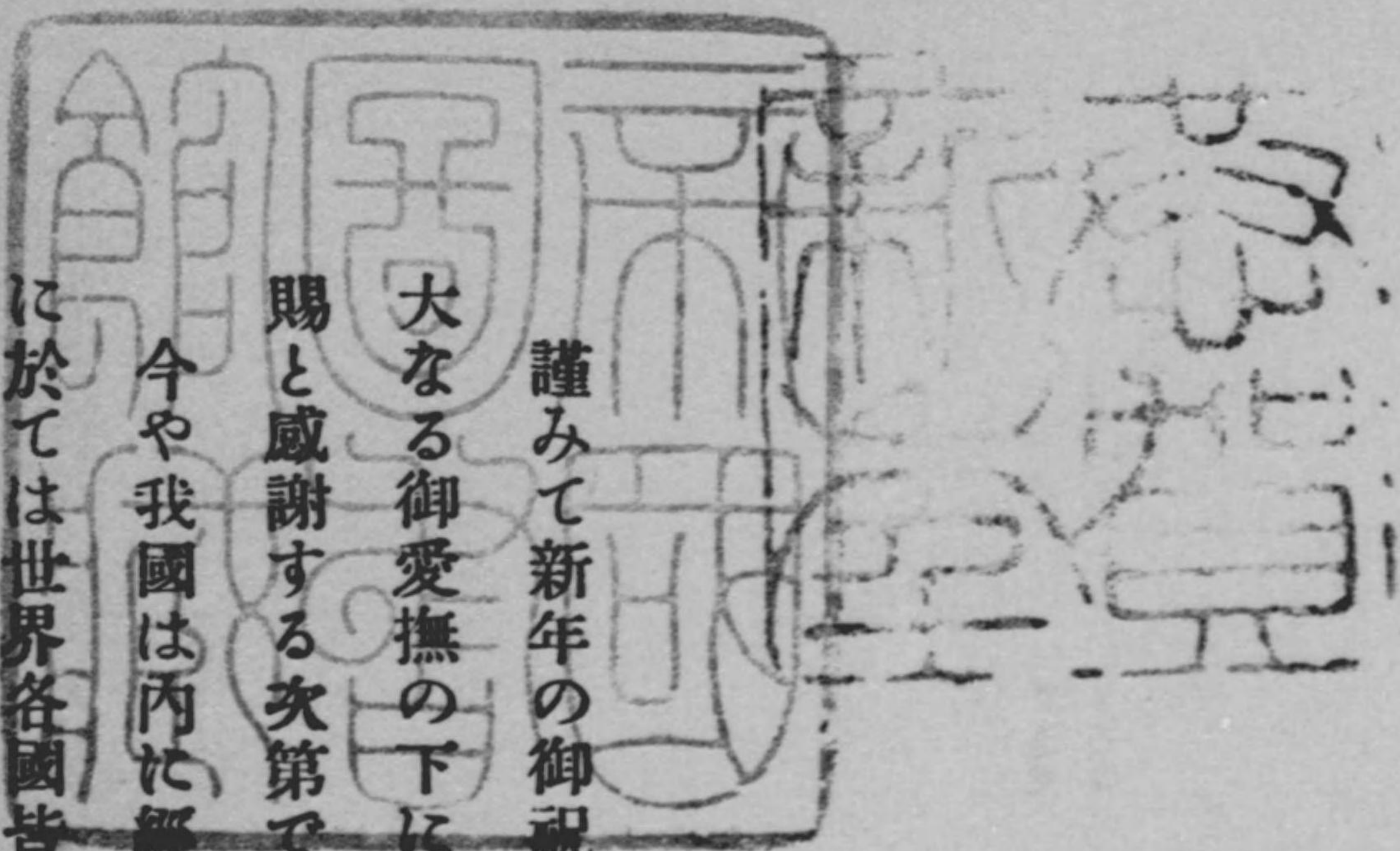
ADH



特249

467





（印）

謹みて新年の御祝ひを申し上げます、昨春孤々の聲を擧げたる本會も會員諸賢の絶大なる御愛撫の下に第二年の春を迎ふるに至りました、一依に會員諸賢の御聲援の賜と感謝する次第であります。



今や我國は内に經濟的宿痼あり、外滿洲に於ては再び山海關事件あり、遠く壽府に於ては世界各國皆敵たるかの感を抱かせらるゝ聯盟總會あり、實に多事多端と言はざるを得ないのであります、此秋に當り吾人が聲を大にして叫ばんとするものは遠く出征の人には磐石の銃後の後援となり、壽府の代表に送るには搖ぎなき舉國的外交たらしめる所の舉國一致の團結力であると思ふのであります、即ち吾人はいさゝか文化事業に従事し一致團結を以て國家に貢献する考へであります。昭和八年癸酉の元旦に當り、いさゝかの抱負を述べて以て新春の辭となし會員諸彦の倍舊の御聲援と御愛撫とを懇願奉る次第であります。

敬 白

部 員 一 同

# 會 員 各 位



## 創立第二周年を迎へて皆様への御願ひ

本會も創立第二周年を迎へる事になりました、これ一依に會員諸賢の御聲援に外ならないのでありまして部員一同感謝に堪へない次第であります。既に築かれたる基礎の上に吾人は一大飛躍を爲し以て會員諸賢の御後援に報ゆる覺悟であります。併し乍ら吾人が爲さんとする一大飛躍も吾人の微力を以てしては如何ともする能はざるものであつて、會員諸賢の絶大なる御好意と御後援とに俟たねばなりません、何卒永久に變らざる御聲援を賜りたく更に又本號より毎號二部宛御送付申上げます故、吾人の微意を御斟酌の上御知人の方に御頒ち下さいまして御勧め下さる様御願ひ申上げます。

皆様の講演會をして有終の美を爲さしめる様心から御援助を懇願致す次第であります 敬白

東京中央講演會

會員各位



## 健康相談部を設けました

日本は建國以來家族制度であります、而して家族の集團が部落となり、地方となり、延ひて國家を形成して居るのであります、故に國家に於ける個人の役割は極めて重要なものであります、而して此の重要な役割は各人の健康に依つて始めて完ふし得るものであります。

此の意味に於て本會は新たに健康相談部を設けました、健康相談は光ヶ丘診療所長醫學博士本間英史先生が本會賛助員として特に會員の爲に御擔當下さいます。先生は滿鐵長春醫院長、山東鐵道青島病院長等を歴任せられその間外遊數度、現在は麴町區平河町に光ヶ丘診療所を經營又一方多年國民保健の爲に努力せられ國民壽康會を創立して國民の保健長壽に盡されて居ります。

御問合せは總て本會健康相談部宛に願ひます、封書を以て一々御回答いたします、誌上には絶對に掲載いたしません。



▽昭和七年度發刊目錄△

拓務大臣 水井柳太郎氏講演

日本再建の指導精神

著述家 平田晋作氏講演

昭和 日本 戰略 論

東京少年 審判所長 鈴木賀一郎氏講演

社會 と 少年 保護

代議士 中野正剛氏講演

日 本 の 動 向

帝大教授 經濟學博士 土方成美氏講演

フアシズム運動に現れたる思想

前主税局長 青木得三氏講演

制限外發行税を論ず

代議士 風見章氏講演

如何にすべきか農村救済策

全國町村會長 福澤泰江氏講演

急迫の農村實相

國際聯盟協會副會長 貴族院議員法學博士 山川端夫氏講演

國際聯盟と滿洲問題

日本國家社會 黨々務長 赤松克麿氏講演

新國民運動の基調

海軍大學校教官 海軍々司令部參謀 亞米利加班長 關根軍平氏講演

支那問題と日米關係

光ヶ丘診療所長 醫學博士 本間英史氏講演

大 自 然 と 我 等



## 目次

- インフレーションと商品界……………田 昌氏(1)
- ◇我國の金貨本位制度制定への歴史
  - ◇インフレーションと金本位制
  - ◇政友はインフレーション民政はデフレーション
  - ◇歐洲大戦と我國のインフレーション
  - ◇デフレーション政策の時代
  - ◇所謂緊縮政策の今昔
  - ◇濱口内閣の緊縮政策
  - ◇經濟事情と政策變化

- ◇インフレーション本體の解剖
- ◇統計上より見たドイツのインフレーション
- ◇インフレーションは是か非か

會員クラブ……………(56)

○會員御紹介



同 疾病治療の根本義

陸軍中將 荒木貞夫氏講演

滿洲問題に對する根本觀念

滿鐵囑託 上田恭輔氏講演

滿洲事變の遠因及近因

貴族院議員 法學博士 鶴澤總明氏講演

王道政治の理想に就て

法學博士 蜷川新氏講演

大國民の思想

文學博士 小柳司氣太氏講演

東洋思想と現代の教育

經濟學博士 木村増太郎氏講演

現世界經濟の動向

代議士 野中徹也氏講演

最近の政治情勢

三井信託社長 米山梅吉氏講演

自力更生

法學博士 森本厚吉氏講演

世界文化の動き

代議士 大口喜六氏講演

現下の財政經濟に就て

早稻田大學教授 民政黨青年部理事 喜多壯一郎氏講演

國際難局と我國の外交

滿洲國經日代表 鮑觀澄氏講演

對滿認識の錯誤を糾す

### 中央講演

第十五號 昭和八年一月十五日發行



#### 一 師略略歴

明治十一年六月兵庫縣水上郡柏原町に於て出生。  
明治廿七年東京帝國大學法科政治科卒業、直ちに大藏省に入り、  
賣局事務官に任ぜられ、爾來大藏省書記官、大藏省参事官、海外駐劄財務  
官、米國駐在大藏省主計局長等に歴任し、大正十三年大藏次官に昇進、  
ら、營繕管財局長、臺灣銀行調査會委員たりしも、昭和二年之を辭し同  
三年以來兵庫縣より衆議院議員に當選する事三回、昭和六年四月若槻内  
閣成立と共に大藏省政務官に就任し、同年十二月辭職せらるる現在民政黨  
代議士として議政壇上に闊歩せられ、黨に重きをなすその前途實に洋々た  
るものあり。

### インフレーションと商品界

前大藏次官 田 昌 氏講演

十二月二十八日於早稻田大學文學部講堂  
主催 早稻田大學法制經濟研究同好會

#### ◇我國金貨本位制制定への歴史

先日本學部から民政黨本部へインフレーションに付て、民政黨と政友會と自ら立場が違  
つて居るやうであるから、双方の代表者を招いて意見を聴きたいから誰か來て呉れといふ



ことでありました。所で私に行つて呉れといふ本部からの註文でありましたので伺ひま  
した。

インフレーションの事に付て申上げる考へで参りました所が、今門前で掲示を拜見しま  
すと、インフレーションと商品界といふ題になつて居りますが、其事は承つて居りませぬ  
でしたから、主としてインフレーションだけに付て考へて参りましたので題を變へて頂き  
たいと思ふのであります。尙二三の商品界に付て申述べましても宜しうございますが、大  
體はインフレーションに付て申上げたいと思ひます。

インフレーションといふことは、學理上から見れば簡單であります。皆さんが既に本學  
においてお習ひになつて居る事でもありますから、それを申上げる必要は餘りなからうと思  
ひます。日本の實際に付ての問題に關聯して、其インフレーションの適用如何といふ問題  
の方が寧ろ、御希望でないかと思ひますので其點を申上げたい。吾々は吾々の祖先のやつ  
た仕事、これによつて恩恵を受けるが、或は非常なる苦痛を受けるのであります。恰も親

父が借金を盛んに拵へて死んだならば子供が苦しむ。反對に澤山の財を積んで置いて呉れ  
たならば、子供はそれによつて安樂に暮して行ける。それと同様に吾々は先輩のやつた仕  
事に付て、後進は幸、不幸を感ずるのであります。インフレーションも同様であります。  
先輩が如何様にインフレーションを用ひるが、即ちインフレーション政策でありますから  
通貨の濫發、借金政策、放漫なる財政政策を行へば、その結果が後世の吾々に何ういふや  
うに影響するかといふ點が問題であらうと思ひます。それで少し過去に遡るやうでありま  
すが、我國の最近數十年來の經濟財政上の出來事に付きまして、インフレーション政策か  
ら見ました経過を申述べて、先輩のやつた所の遺方が良かつた、或は悪かつたことになつ  
て。どれだけ影響が違つて來るか、又今日吾々の遺方次第で吾々の子孫がどれだけ苦しむ  
であらうか、といふやうなことを先づ申上げてみたいと思ふのであります。

そこで此インフレーション問題の起ります前には、先づ貨幣制度といふものが確立した  
その貨幣制度を運用して行くのに、どれ位の程度の金融政策をやるか、或は借金政策をや



るかといふことに付きまして、自らインフレーション問題が起るのであります。我國に於きましては、明治三十年迄は金銀兩本位でございました。所が銀が段々下りまして、明治卅年頃に於ては、それより二十年程前に較べまして、銀は半分、金は倍といふ結果になりました。即ち明治卅年の頃には金一匁は約五圓でありました、所がそれより二十年程前の明治十年頃には金一匁約二圓五十錢であつた、といふやうな譯で金の値段が銀に較べて倍になつた。而して明治三十年前までは金銀兩本位であつたから、同じ債務を履行するにも安い銀で返した、銀貨で返せば半分で済む譯であります、即ち經濟學上の悪貨は良貨を驅逐するの原則に依つて、金貨は驅逐され銀貨ばかり横行するやうになつた、といふことは前に較べまして貨幣の價值が半分になつた。即ち物價が倍になつたといふことである。即ち二十年間に物價がどん／＼騰貴しました爲に經濟界が非常に不安である。どうしても金本位にでもして物價を安定させぬとゆかぬといふ考へが有たれましたが、なか／＼金貨本位を採用することが出来ない。それは金貨本位を採用しますには何億圓といふ正貨準備

が要る、その金がなかつたのであります。幸にも明治二十七八年の戦争で、支那と戦ひまして、四億圓の償金を金貨で受けることが出来ることになつた、そこでそれを以て正貨準備として貨幣法を金本位にした。その時には所謂新平價を採用したのであつて、前の一圓の金貨は明治三十年からは二圓の金貨に通用することになつた。即ち金一匁五圓といふことになりました、さうして初めて金本位といふものが出来まして、その金本位を守つて行く。金本位を崩さないで財政計畫をやつて行くといふことが國家永遠の利益であるといふ考へで財政當局者はそれに努めて行つた。

#### ◇インフレーションと金本位制

何分日清戦争で勝つて、その戦後經營が必要であるといふので官民共に非常なる勢ひで色々やつた。政府の方では折角日清戦争で勝つた利益、即ち遼東半島を取つたのを三國干渉で還した。此怨みを報ひなければならぬ。さうでなければロシアが非常なる勢ひで東洋



に進出して来て、滿洲も朝鮮もロシアの領土となつて、日本の安全が保ち難いといふ危険なる情勢が見えた爲に、近き將來に於て、どうしてもロシアと戦争しなければならぬといふ必要を感じて、ロシアとの戦争の準備の爲に非常に金を使つたのであります。一方民間の方では盛んに投資を行つて、鐵道を作つたりなんかして資金を固定させてしまつた。それが爲に政府も民間も非常に財政困難になつた。盛んに金を使ひます結果はどうなるかといふと、外國から品物を買ふといふことになる、さうすれば自然輸入超過となる、輸入超過になればその代金を拂はなければならぬが、その代金は日本銀行の正貨準備から拂ふ。併し正貨準備はさうない。さうすると折角明治卅年に骨折つて拵へた金貨本位を維持することが出来ない、さういふ状況になつて、どうしても外國から借金をしなければならぬといふことになつて外國に借金に出掛けた。其時に新に公債を發行しないで既に政府が日本で發行しました公債をロンドンで賣らうとしました。さうすると向ふでは、日本では此間新平價を採用して金本位を半分にした、これは日本の貨幣で定めた公債であるから、それ

を其儘買つて置いたら、日本が勝手に又新平價を採用して、半分にしたならば、持つて居るイギリス人は損するから、其儘ではゆかぬといふので、日本の幣制の信用が非常に疑はれた。それで大藏省でも非常に苦心して、其時に裏書公債と云つて、裏に英語で、是は金一匁五圓の割合で必ず返す、法律が改正になつても必ず返すと云つて賣出したので、裏書公債といふ名前が付いた位であります。さういふやうに非常に苦心して居りました。

そこへ日露戦争が勃發した。戦争が始まれば戦費を調達する爲に借金をやるインフレーションをやるといふことは世界至る所共通の事でありますから、盛んに借金をやりました。今の大藏大臣の高橋さんが其當時財務官としてアメリカ、イギリスに行つて十億内外の外債を拵へて漸く戦争に勝つたのであります。日露戦争に勝ちますといふと、又日清戦争の時と同じやうにやはり行詰つた。政府はどん／＼戦後經營といふ仕事をやる。民間にもいふんな産業が起つて金が要る。その結果はどうなるかといふと輸入超過になり、外國へ金を拂はなければならぬ、その金がないといふので、それから十年程の間は年々借金政策を



繰返したのであります。借金政策を繰返す結果はどうかといふと、年々多額の利子を  
支拂はねばならぬ、其支拂が出来ないからそこでどうしても外國で借金をしなければなら  
ぬ。初めの中は公債を出したりしましたけれども、今度は日露戦争で出し過ぎる位しま  
したから、政府の公債を發行する譯にゆかなくなつた。そこで今度は何か他の形で外國か  
ら借金出来るものを探さうとしまして、そこに泛んだのは、恰度ロシアから取りまして日  
本の物になつた南滿洲鐵道會社であります。南滿洲鐵道を改良する爲に金が要る、それで  
金を借りるといふことで、是は事實鐵道そのものが擔保みたいな譯で、鐵道の改良の爲に  
金が要るといふことになれば、西洋人も判りますから借金が出来た。今の民政黨の總裁の  
若槻さんが當時財務官としてイギリスに居つて、一番最初に滿鐵の社債を出した。其後に  
は今の樞密顧問官の水町さんが滿鐵の社債を出された。所がすつと後の話でありますけれ  
ども、私がアメリカに行つて居る時分に、滿鐵の社債をアメリカで出さうとしましたが、  
其時はアメリカ政府の反對で出なかつた。それは滿鐵に對してアメリカ政府の方で種々の

意見があります爲に出なかつたのであります。兎に角初めの中にはイギリスに於て二三  
度滿鐵の社債が出まして借金が出来た、然しさう滿鐵ばかり借金も出来ない、加ふるに  
日露戦争當時の借金が多數あるから、外國に支拂はねばならぬ金が政府だけでも數千萬圓  
要る。それがどうしても拂へない以上、拂へなければ兌換停止である。金の輸出を禁ずる  
又は外國で出した公債の利子を拂はぬやうにするより仕方がない、今日は世界中さういふ  
ことになつてゐますから割合大膽にやりますけれども、其當時は兌換停止などいふこと  
はエヂプトみたいな國しかやらない。ですから兌換金貨制度を有してゐる以上借金でやる  
より仕方がない。併し手品の種切れになつたので最後に考へ付いたのが東京市の電車であ  
る。現在は東京市電氣局でありますけれども、廿年程前には東京市街鐵道會社といふ會社  
でめつた。而して三つ程の會社になつて居つた。之を東京市が買はうといふことを希望し  
まして、度々東京市から申出があつたのでありますけれども、毎時も大藏省あたりで、東  
京市の財政上の爲に好ましくないと云つて却下して居つた。所が外國で借金する種が切れ



た所なので、大都會の電車を市が經營する爲に公債を出すならば、是は外國人にも分り易いといふので、それを理由にして大藏省で許すといふことになつて大藏省も喜びまして、東京市の電車買上の爲に其資金として外國で公債を募集しました。是は東京市だけでは唯それだけの關係でありますけれども、政府全體から云ふと外國に借金の支拂が出来ぬから已むを得ずさういふことをやつた。明治卅年我國に金貨本位制が布かれてから明治四十五年頃まで十五年間は其金本位を維持する爲に非常に困難した、一寸インフレーションをやると直ちに行詰つてしまつた。即ち外國に對する利子が拂へなくなつて直ぐ兌換停止をやらなければならぬ危険に度々襲はれた、それが爲に苦心して借金で十五年間やつて來た。

#### ◇政友はインフレーションシ民政はデフレーション

所が借金の種切になつて借金が出来なくなつた、借金が出来なくなれば兌換停止、即ち金本位制の停止より仕方がない。そこで大正三年大隈さんが總理大臣になつて、大隈内閣

の當時、其時は若槻さんが大藏大臣で其下に濱口さんが次官として居られた、でこれらの先輩の方々は、此儘で借金政策を續けて行けば、即ち從來のやうなインフレーション政策を續けて行けば、日本は經濟上亡國する。それではならぬから此處で思切つて本當のデフレーション政策をやらなければならぬ、それが其當時の時世の要求であるといふ立場から従前は外國で借金をするといふ方針であつたのを、一切外國で借金しないといふ方針を定められました。さうなると外國に對して毎年七千萬圓ばかりの利子を拂はなければならぬがどうするかといふ難問に當りまして、今までは輸入超過があれば借金をした金でどん／＼拂つて居つたから輸入は盛んにやれましたが、今度は輸入を抑えて、輸出超過を拵へて、其差額で外國に七千萬圓拂ふより仕方がない、斯う云ふことを考へまして、大正三年の七月頃大藏大臣の官舎でそれが決つた。其時に私は理財局の國庫課長であつた關係から列席しましたが、今後は一切借金しない、外國への支拂には從來借金でやつて居つたけれども、それは益々借金が多くなるばかりで永久に返せないやうになるから、それでは日本



は立行かぬ、さういふ危険を防ぐ爲、日本は日本だけの懐でやつて行けるやうにし、外債の利子を拂ふだけの金は、どん／＼正金銀行で爲替を買上げて、即ち輸出品の代金の中から先取りして輸入を抑へてやつて行かうといふ方針を定められたのであります。此若槻さんと濱口さんがさういふ公債を發行せぬといふ方針を樹てられたのが基となつて、——それより前のこともありますけれども、私としてそれが大なる動機となつたと思ふのであります。——それから民政黨はインフレーションはゆかぬ……インフレーションに對して絶對的ではありませんせぬけれども、インフレーションばかりに依る政策は甚だ危険であるといふ意見から段々其時分から緊縮政策を執りかけたと思ふのであります。それで此事は口で云へば甚だ簡單でありますけれども、實行には非常に骨が折れる。何故か云ふとさういふやうにして政府が七八千萬圓も輸出品の代金の中から先に取つてしまふと、輸出超過があれば何でもないけれども、輸出超過がなければ今度は外國に渡さなければならぬ、それで羊毛其他の輸入商が非常に困難を感じますので、輸入商の方の側より反對があります

即ち輸入貿易が非常に困難になるといふ状態から商賣人が反對した。従つて爲替銀行たる正金銀行に於ても難色があつたが、それを無理に抑へまして實行した。何故斯様な苦心をするか、政友會内閣當時のやうに借金でやればいゝぢやないかといふお考へがあるかも知れぬが、從來十五年間借金ばかりして、十數億の外借が出来てもはや此上借金が出来なくなつた、さういふ行詰りも一つの原因であるが、大體から見まして民政黨と政友會とは自ら經濟界に對する方が違ふといふ點が原因であらうと思ふのであります。それは民政黨も政友會も共に國の爲に苦心して居るといふ點は違ひなからうと吾々も考へるのであります。即ち國家の爲人間の幸福の爲に政治をやるといふ目的は同じでも、實行の手段が兩者の間に自ら違ひがあるのであります。それは吾々から見ますと、政友會の方は急速なる進歩を期待して居られるやうに思ふのであります。即ち駈足で走るのであつて、少し國の力に無理があつてもこれ位はやらなければならぬといふので駈足で行く。即ち借金をしなければ仕事が出来ないといふ場合、借金を以て仕事をやるやうにして行かれる。それは或



程度までいふ。又戦争などの場合には、丁度駄足でも最後のヘビーをかける場合には、さういふ暇間にはいふ事ではありません。併し駄足を最後まで續けて行くといふことはそれは不可能である。體力が續かぬ、日本の國力が續かぬ。吾々民政黨の方ではさう駄足ばかり續けなく、健實に歩いて行く方が、結局疲れないで目的を速く達し得るのであらうといふ觀方をした。借金をしなければならぬ場合には借金をするけれども、それは國力に應じてやる、國力の許さぬ借金は危険である、斯ういふ立場を有つて居るのであります。それはあなた方の家庭に付て御覽になつても、家庭の皆様がいろんな希望がある。國家も亦同様である。その希望を一々許して行けば三井三菱ならやつても行けませうけれども、普通の家庭ではとても難かしい。お爺さんは隱居所を一つ拵へたいといふ、妻君は着物が慾しい、娘さんは婚禮の仕度が欲しい、息子は學資をもつと餘計に慾しいといふやうにそれ／＼のを有つて居る。財政が許せばそれもやれますが、それを無して借金でやるか、或は尤もな希望であるけれども、其中で絶對的の必要なものを先にして、不必要なものを後廻

しにする。それと同じ立場で、政友會では希望を充たしてやつた方がいふと云ふやうに見える。吾々は借金をしてやると後で子供が困る、否自身も困るから借金を成るべくしないで、例へば親が病氣になつたといふやうな場合は已むを得ないが、さういふ風に借金をして行くのは甚だよくないといふ立場を有つて居るのであります。尙インフレーション即ち通貨政策に付て、例へて申しますと、誰か家族が腹痛を起したとする、腹が痛ければ注射すれば直ぐ癒るだらうからといふので注射するのが政友會の立場である。民政黨では注射も一回二回は好いけれども、それが度重なれば中毒を起すから、若しをれが手術を要するならば、今痛くとも手術して根本的に治療してやる方が却つて好いぢやないか、斯う云ふ風に自ら兩者の立場が違ふのぢやないかと思ふのであります、是はまあ政友會の方の人から見ますと反對論があると思ふのでありますけれども、吾々はさういふ考へを有つのであります。丁度内閣が出来ても各省大臣が、内務省の人は道路を作らねばならぬ、文部省の人は學校を造らねばならぬ、逓信省の人は電信電話設備を擴充しなければならぬといふやう



に、各省の人は所管のことを非常に大切に、何より先に之をやらねばならぬといふことを主張するのであります。それと同じ立場を政友會の人は有つて居りまして、國民各方面の希望を充たして行くのであります。民政黨の方は何方かと云ふと、大藏大臣のやうな立場を有つて居る人が多いのであります。それが爲に國家の財政が壊れてしまつたならば損であるから、財政の許す範圍に於て各省の希望を満足させるより仕方がないではないか、といふ譯であります。さういふやうな譯で民政黨の方では成るべく借金を避けたが好いといふ方針を從來有つて居つたのであります。

#### ◇歐洲大戰と我國インフレーション

そこで先程申しました通り若槻藏相、濱口次官等がこれから外國に借金せず日本の金だけでやつて行かうといふので、大正三年の七月に其書類を認めて調印を得て、いよ／＼來月から實行しやうといふ時に、突然世界大戰が起つた。それですつかり形勢が變つた。こ

れまでは輸入超過で困つて居つたが、今度はヨーロッパの各國から日本の品物を買ひに來るやうになつたから、日本の輸出超過になつた。苦心しなくとも借金どころではない、外國に利子を拂ふ金は貿易の輸出超過で餘る、餘り過ぎて貸すやうになつた、丁度其時分に輸出超過や貿易外の受取勘定など三億圓以上にもなつたのであります。其大部分は日本銀行と政府とが分ち持つておました。其當時正貨の多い時には……大正八九年頃には二十一億圓になつた。今は四億數千萬圓になつて居るが、十四、五年前には二十一億からあつた其當時内地に七億圓とロンドンに七億圓とニューヨークに七億圓あつた。それ故に十五年前の苦しむといふものは一朝にして消え去つたのであります。今日から云ふと其時に注意して置けば今日これ程苦しむはしないだらうと思ふ。其時の跡始末が非常に拙かつたと思ふのであります。其時には金の輸出禁止などといふことは問題にならなかつたけれども、世界大戰が始まつて何年間戦争が續くか分らぬ。それには各國が金を自國に有つてゐた方が經濟上から見ると戦ひに勝ち易いといふのでヨーロッパ交戦國は戦争が始まると各々金の輸



出を禁止した。アメリカと日本は當時まだ戦争に加つてゐなかつたのでやらなかつた、併し大正六年の七月にアメリカもいよいよ大戦に参加した。そうかうする中にアメリカも何時まで戦争が続くか分らぬから、今持つて居る金貨を保存して置かねばならぬといふ立場から金の輸出を禁止しました。當時私は財務官としてニューヨークに居たから、アメリカが金の輸出を禁止したといふ細かい詳細を電報で日本に打つた。所が當時寺内内閣で勝田主計といふ方が大藏大臣であつたが、電報を受取ると早速アメリカが金輸出禁止をやつた以上日本もやらなければゆかぬと云ふ考へを以て、直ぐ電報に基づいて金の輸出を禁止しました。之が日本の第一回の金の輸出禁止であります。

そこで此場合日本が金の輸出禁止をやつたのはさう非難は出来ないだらうと思ふ。世界中が金の輸出禁止をやつて、戦争中は戦に勝つ爲には金一匁五圓の奴を六、七圓でも賣らうとするかも知れない。日本だけが金の輸出を許して置けば、日本の金がなくなつてしまふから、あの場合アメリカに追隨してやつたといふことは已むを得なかつたことであらう

と思ふのであります。所がさういふやうに金が澤山になつたから、さうなると氣も弛んで寺内内閣及び次の政友會原内閣時代に於て、日本政府は所謂シベリア出兵といふことをやつて七億圓も金を無意味に費つた。これも今日から見ると随分惜しいことをやつたと思ふのであります。正貨ではないけれども、豫算で費つたやうな譯であります。而して大戦も済みまして大正八年の六月にアメリカは金の輸出禁止を解いた。さうなるとどういふ結果になるかと申しますと、日本はアメリカに随つて金の輸出を禁止したけれども、アメリカが解禁したならば其時日本も金解禁をすればよかつたが、其時の大藏大臣が高橋さんで、やはり金が好きの方であつたから解禁したらゆかぬといふので解禁しなかつた、之れが非常に民政黨と政友會の立場の違ふ所でありまして、日本の經濟界はそれが爲に非常な影響を受けたといふことはどういふ譯かと云ふと、日本は御承知の通りアメリカの經濟界に支配される立場になつた。生糸はアメリカで買ふ、日本の輸入品の主なる綿もアメリカから買ふといふ譯で、アメリカ品といふものが日本の經濟界に對して非常なる重要な意味を有



つて居る、アメリカは金輸出禁止をやつて居る、金輸出禁止をやるといふことはどういふことかといふと、紙幣の發行が幾ら出しても目先に影響がないといふことである。金の輸出を禁止しないで兌換制度をやつて居るといふと、少し紙幣を濫發するとすぐ物價が騰貴して、我國の輸入が殖へて代金の決済に金を取られる、さうすれば中央銀行の金貨準備がすぐ危険を來すから、紙幣を濫發するといふことの間違ひに對して自動的の制肘が中央銀行の機能の上にある。所が金の輸出禁止をして居ればそれが無い。品物を買つて代金を渡さぬと同じであります。今日ではどうなるかといふとさふいふ危険のあるときには、一圓の物を二圓三圓に高く吹掛けて半分拂つても大體損せぬやうにやつて居る。それと同じやうなことが外國爲替の上に見はれるのであつて、外國爲替が非常に下落するのである。さうすると外國人から見ると、値段が安くなるから、代金を支拂はなくても物々交換で決済して行くといふことになる。金輸出を禁止して居ると、其國の紙幣の發行高が多くなり自然物價が高くなる。そこでアメリカの方は解禁したから紙幣を濫發したのが整理された。

紙幣の發行が普通の状態になつた、併し日本はさうではない。アメリカの物價は段々下り日本は上るといふ譯になつた。忽ち其影響を受けて大正九年の三月に株券が大暴落をしてそれが爲に澤山の會社銀行等は大損害を蒙つたのであります。民政黨の云ふやうに早く解禁して置きましたならば、大正九年に非常なる高値……百圓位して居つた株が五百圓、六百圓まで行かない、三百圓位で止つて居るのであります、而して下る時も暴落の程度が少いのであります、暴落の程度が少なければ銀行などが損をする程度が少くなる、百圓の株に對して八十圓より貸さない奴が、五百圓なれば四百圓貸すことになる、それが百圓に下れば三百圓は丸損といふ譯になる。さういふ譯で日本がアメリカに隨つて解禁しなかつた爲に銀行業は非常な缺損をした。政友會の高橋さんの遺方が餘程原因をなして居ると思ふのであります。これは過去のことであるが、濱口さんなり先輩方は早くからこの事を心配されて非常に非難されて居つた。そこでさういふ風になりますと何うなるかといふと、もう一邊インフレーションをやる必要があるといふことは、銀行が潰れてしまひさうにな



る、銀行が潰れては大變だといふやうな譯で、救済のインフレーションをやる。銀行を助ける爲に無理なことをやるのであります。その一番著しい例は臺灣銀行であります。これは原内閣の時に五千萬圓、その次の高橋内閣の時に五千萬圓其他で結局、臺灣銀行を潰したらゆかぬといふので政府なり日本銀行が一つの銀行を救済する爲に四億圓も金を貸出さざるを得なくなつた。斯う云ふことが起つたのも大正九年の三月の時にインフレーションで打撃を受けたからであります、故にインフレーションといふものは非常に危いものであるといふことが日本に於ても過去の経験で分つて居る次第であります。

#### ◇デフレーション政策の時代

そこで今度は非常に日本の舞臺も變つて、それ以後は大體に於てデフレーションの時代に入つたのであります。何故かと云ふと、世界がデフレーションの時代になつた。前に申します通り、戦争があれば戦争に勝つ爲に無理な金を使はねばならぬ、即ち借金政策を濫

用しなくてはならぬ。金の輸出を禁じて澤山紙幣を發行するから物價が高くなるけれども戦争に勝つ爲には已むを得ないといふことになつて、世界戦争で各國が幾ら程使つたかといふと約四億圓程金を使つた、だからそれだけの紙幣が殖へた譯でありますけれども、その大部分は公債で出来て居るのであります、公債の利子といふものが非常に重い國民の負擔になつて居る譯であります。であるから濟んでしまふと、交戦國は何れも財政を整理して、戦時の公債を成るべく返して行つた。さうして元の眞面目な状態に返さなくてはならぬといふ状態になつた。アメリカもイギリスも其他の國もごし／＼節約をやつて、所謂デフレーションの時代になつたのであります。そこで日本もデフレーションやすらなければならぬ、日本だけデフレーションをやらなければ遂に對抗出来なくなる。各國がみなやる、さうして財界が戦前の状態……戦前まで行かぬまでも、過度のインフレーションをすて、兎も角金貨本位制度を樹てる立場まで還らなければならぬ、といふので盛んにデフレーションをやりました。そこで日本でもやりました。一番初めにやつたのは、



例のワシントン會議で、日本及び英米佛伊でありますが、是等の國が拵へて居つた所の軍艦製造を制限するといふことになつた。若しさういふワシントン會議といふものがなくて、初めの計畫通り假にやつて行けるものと假定すると、大正十六年には海軍の金だけで毎年十億圓程要るといふことであつた。そんなことは到底不可能であります。そこでワシントン會議は日本に取つても丁度幸だと私は感じるのであります。丁度私も其時隨員の一となりまして、ワシントン會議に列席しました。加藤寛次大將、末次大將等の人は強硬論で反對したけれども、加藤友三郎全權に於ては、これを抑へ付けて、さうしてワシントン條約が結ばれた、それによつて財政は非常に助かつてゐるのであります。若しあの條約が成立してゐなかつたならば、海軍擴張の爲に日本は恐るべき状態になつたに違ひない。財政上から見れば、幸ひワシントン條約が出来て海軍の方は抑へることが出来たが、これは單に海軍のみならず、陸軍も同様に整理しなければならぬといふので、當時は山梨陸相でありましたが、色々整理して、當時二十九萬人の常備兵が居つたのを、二十三萬人ばかりに減じてしまつた、而して同時に一般の行政整理もやりました。さうして先づ第一回の財政緊縮をやつた、其時は私は主計局長をやつてゐましたので實際其衝に當りました。これが第一回の整理で、大正十一年から十二年にかけてやつた、所が其年の秋、九月一日に東京に大震災があつて、何十億圓といふ損害を受けた。これが善後措置だけでも十億圓以上の金が必要といふやうな時期になつたから、其場を遣繰る爲には、非常な財政緊縮をやつて——デフレーションをやつて、政府の他の費用を減らして緊縮するより仕方がないといふので、又第二回の整理をやつたのであります。それからそれでもまだ不充分であるといふので、其次の加藤高明伯の首相の時、濱口大藏大臣が大正十四年に大々的の財政整理をやられました。此時には陸軍だけでも二十一個師團を十七師團に減らした。其他政府全體で一年に二億五千萬圓の儉約をやりました。これが所謂濱口さんの有名なる財政整理であります。所がさういふ風にやつて來ましたけれども、金の輸出は元の通り禁じた儘であります。爲替相場は四十弗位に下りまして、却々回復しない、毎日々々變動する、これが

りに減じてしまつた、而して同時に一般の行政整理もやりました。さうして先づ第一回の財政緊縮をやつた、其時は私は主計局長をやつてゐましたので實際其衝に當りました。これが第一回の整理で、大正十一年から十二年にかけてやつた、所が其年の秋、九月一日に東京に大震災があつて、何十億圓といふ損害を受けた。これが善後措置だけでも十億圓以上の金が必要といふやうな時期になつたから、其場を遣繰る爲には、非常な財政緊縮をやつて——デフレーションをやつて、政府の他の費用を減らして緊縮するより仕方がないといふので、又第二回の整理をやつたのであります。それからそれでもまだ不充分であるといふので、其次の加藤高明伯の首相の時、濱口大藏大臣が大正十四年に大々的の財政整理をやられました。此時には陸軍だけでも二十一個師團を十七師團に減らした。其他政府全體で一年に二億五千萬圓の儉約をやりました。これが所謂濱口さんの有名なる財政整理であります。所がさういふ風にやつて來ましたけれども、金の輸出は元の通り禁じた儘であります。爲替相場は四十弗位に下りまして、却々回復しない、毎日々々變動する、これが



貿易界にどういふ影響を來すか、或は生産界に如何なる影響を及ぼすかといふと、外國品を輸入して仕事する人には非常な危険があります。これだけの相場で外國品を買つて、内地でこれだけに賣れば利益があると目算をつけて買つても、受取るまでに爲替が變動すれば思はぬ損をする。又或場合には思はぬ利益を得ることもある。總べて計算で行ふべき所の商業といふものが、全く投機業になつてしまふ。そこで非常な損をしたり、時に思はざる儲けをすることがある。これでは到底實業がやつて行けないから、どうしても爲替の變動を防がなければならぬ。それには金の輸出解禁をやつて、爲替相場を現送點の範圍内に如めるより仕方がない、といふ輿論が高くなつて、政友會内閣の時にも、三土大藏大臣の止きは金解禁をやらうと企て、居られたのであります。其當時太田正孝君は別に代議士でも何でもなかつたが、金解禁の必要を力説せられ、パンフレットまで出されて、殆どそれは輿論と見られた。どうしても財政整理をやつて、金解禁をしても金が無暗に外國に流れて行かないやうに、即ち金本位制度が安全に維持出来るやうにして置いてやらなければならぬ、と云ふので、濱口さんが總理大臣になられてから、昭和五年に一億二千萬圓、六年に一億二千萬圓といふやうな節約をやられました。これがデフレーション政策であります。

#### ◇所謂緊縮政策今昔

それは甚だ芳ばしくなかつたかも知れませぬけれども、金解禁をやる爲に絶對的に必要であり、金解禁をしなければ日本の實業といふものは、成り立つて行かないと云ふ要求から起つたのでありまして、其議論に伴つて解禁をやつた。所がそれが甚だ困難な仕事であるといふことは、既にあなた方御存じの通りであります。此金貨本位を立直し、紙幣の下落した値段を元通りに直す。云ひ換へて見ると、デフレーションをやると云ふことは、常に難かしい事であります。如何に難かしいかといふことは吾々の父兄が既に經驗を得て居るのであります。どういふのかと云ふと、明治十年に西南戦争が起つて、當時の日本政



府は、鎮壓の爲に政府が紙幣を發行して約四千萬圓ばかり戦費に使つた。所謂紙幣を濫發したのでありまして、其爲に紙幣の價值が下落して、物價は二倍にもなつた。そこで物の値段が高くなると、農家や、物を所有してゐる人は、非常に好景氣だと云つて喜んだけれども、同時に輸入超過の原因になつた。どうしても財政緊縮をやつて整理しなければならぬといふので、松方侯爵が大藏大臣になつて整理される事になつた。其當時の四千萬圓と云ふと、丁度先程申しましたやうに金貨本位前でありますから今日の弗と同じやうであるから、アメリカの金貨四千萬弗に相當する。而してまだ國力が甚だ弱かつたので、それは甚だ困難な事であつた。松方侯が大藏大臣になつて、どう考へたかと云ふと。是は思ひ切つた儉約をやり、さうして整理するより仕方がない。併し乍らさうやれば、非常なる不景氣が起つて來て、物議が囂々として起つて來る。或は大藏大臣が殺されるかも知らぬ、總理大臣が殺されるかも知らぬ。所が此事をやりかけて途中で大臣が殺されたといふことの爲に、其仕事が中途で止つてしまふといふことになる、其結果は何うであるか、却つて

損である。全く無意味になるのみならず、却つて有害である。だからやりかけた以上は、どうしても最後までやらなければならぬ。大臣が殺されても、誰が殺されても、それが爲に其方針を變へてはゆかぬ。それには然るべき方法を講じて貰ひたい、といふことで色々相談の結果、それでは明治天皇の御前會議で此方針を決定したがよろしい、さうなれば大臣が變つても方針は變らぬといふことで、明治天皇の前で松方侯が財政整理意見を申上げて、陛下も御聽きになつて、やるが宜からう、假令大藏大臣が變つても、總理大臣が變つても此方針は變へぬといふことでやつた。それで新規事業は三年間一切やらぬといふことになつた。今日でも新規事業は三年間やらぬと云へば整理は出来る、今年は七億圓も認めて居る。昨年は六億圓も認めて居る。これは三年間新規事業を認めず元の通りやると歳入は入つて來るから金は餘る、餘つた紙幣は大藏省でどん／＼焼いてしまつた。それで紙幣の價值が出て、下落した紙幣の價值が元通りになつた、其代り半分程になつた。財産が半分になつたといふので澤山の地主、金持等が破産した。これでは堪らぬといふので秩父騒



動とか何々騒動といふのが澤山起つた。危ふくすれば國を危殆に導びく虞れがあつたが、幸にして其時には無事に通りまして、明治十七年に其仕事が出来上り、今日の日本銀行といふものが其結果として出来た、それから日本の財政經濟と云ふものは非常に順調に行つて、明治二十七八年の日清戦争をやる力がその整理の爲に養成されたといふこととなつた。其當時デフレーションは絶対に必要であつたから、松方侯が萬難を排してやつたけれども、非常に困難であつた。濱口さんや井上さんがやりかけても成功せず、松方侯は設計通り行つたのであります。一方インフレーションをやるといふことは至極簡単にやれます。紙幣をどん／＼印刷して、金を貸せといふ人に貸してやる、何處其處に土木事業をやつてくれと云へばどん／＼やる。併し其結果は恐ろしい、其結果を直すことは非常に困難である。斯う云ふことであるから民政黨あたりでは、一旦持たして置いて戻すよりは、成るべく持たさないでやつて行く方が宜い。丁度御馳走があるからうんと食はうと云ふ人とそんなに食ふと後で苦しくて困るから、宜い加減の所で止めやうといふ譯で、牛飲馬食す

るより後の事を考へて程度で止めて置くと同じ事で、私が緊縮豫算を主張し、公債發行制限を主張して居る所以であります。

#### ◇ 濱口内閣の緊縮政策

さういふやうに金本位を維持する爲に一旦貸し出した通貨を元に戻すのは非常に困難である。それを濱口さんがやりかけた、そこであの場合の事情が、豫想外の事がなかつたら假令ビストルで撃たれても或は仕事が出来たと思ふのであります。所が爰に日本に取つて悲しむべき出来事が世界に起つた。それは濱口さんたちが金解禁をやらうといふ最中にアメリカ大恐慌が起つた。丁度その頃アメリカだけは不景氣なんて云ふことはない、アメリカは永久的に好景氣であると云ふやうな考へで、株券も非常な期待で昇つて有頂點になつて居つた。フーヴァー大統領なんかも、此前の選挙の時には、フーヴァーが立てばアメリカは金持になるのだといふやうに云つて居つた。所がフーヴァー氏がいよく大統領に



なりまして——昭和三年の秋に選挙されて四年の春に大統領に就任した——半年と経たぬ中に非常な経済界の反動が起つて、高くなつた株券が今度はばた／＼と下り出し、忽ち十分の一程に下つてしまつた、そこで世界に非常な不景氣が起つて來た。どの位アメリカの不景氣がひどかつたかといふことを例を擧げて申しますと、或るアメリカの會社の社長をやつて居つた人が六十六、七歳になつて隠退した。其人は其の結果二十二萬弗の金が出来た、これだけあれば自分も子供も安心して食へると云ふので隠居する積りで考へた。せめてもう三萬弗だけ銀行から金を借りて二十五萬弗にして、十の銀行の株を二萬五千弗宛買つて持つて居れば安氣にやつて行けるといふので、株を擔保に三萬圓借金して二十五萬弗で株を買つて持つて居つた。それが好景氣の時であります。所が昭和四年に反動が來て、下りかけた時分に早く賣れば宜かつたのでせうけれども、まさかさう下るまいと思つたのでせう其儘持つて居つた。所が二十五萬弗の奴が二十萬弗に下り、終ひに三萬弗になつて金を貸した銀行は、放つて置いたら回収出來ぬ、別々二十五萬弗で買つて擔保にして置い

た株を三萬弗で賣つて借金を返してしまつた。さうすると折角二十何萬弗か溜めたのがアイになつてしまつた。明日からどうして飯を食ふかといふまで詰つて、今更ら金儲けもすることが出來ないから實に困つてしまつた。自分は十萬弗かの生命保険に入つて居る。うか／＼して居ると生命保險會社も潰れてしまふかも分らないし、又保險料を拂ふ金もない自殺して今の中に十萬弗の生命保險料を取らなければゆぬといふので、到々ビストル自殺してしまつた。さう云つた状態でありまして、インフレーション政策も上る時にはどん／＼上つて景氣が良いけれども、さう永久に上るものぢやないから行詰つてしまひ、元の通りになつて、最後には酷い目に遭ふ。日本では會社など辭めると大底退職金など呉れませんが、アメリカなどは退職金を呉れない、チヨンと鹹つてそれまでである。日本は家族制度であるから親父が働けなくなつたら子供が食はして呉れる。子供が困れば親が面倒を見て呉れる。併しアメリカは個人主義だから一旦獨立した以上は決して頼みない。私がイギリスに居る時分に、クラブに十五、六歳の給仕が居たが、シャツやカラーを毎時も自分で



洗濯してゐるから訊ねると、お母さんに洗濯して貰ふと洗濯料を取られると云ふ、拂ふのかと重ねて問へば、勿論拂ふし受取ると云つた。日本と餘程考方が違ひます。アメリカあたりには老人になつて息子が食はして呉れず、生活が出来ないで困つて居る人間が澤山ある。だから養老院が澤山ある。失業して生活が出来ないし、縁者も食はして呉れないといふのが一千万人も出来て居る。今日になつて考へるのは容易かも知れないが、其當時にはアメリカにそんな不景氣が来やうとは考へられなかつた。濱口さんや井上さんが其當時それを考慮に入れなかつたのは無理のない事であると思ふ。或は先見の明が足りなかつたと云ふ點を非難されるかも知れないが、肝腎のアメリカの大統領フーヅフー氏自身分らなかつたのだから、日本の大臣が其事業を豫知しなかつたとしても、非難すべからざる點であらうと思ふ。それが濱口さん井上さんのデフレーションの仕事に多大の影響を與へた。もう一つはアメリカの不景氣が段々に酷くなつた爲に、それがイギリスに渡つて、遂にイギリスが金の輸出禁止をやらなければならぬといふことになつた。これも其結果が日本に

どれ位影響を來すかといふことが、今日から云へば云へますが、其當時としてはなかく、推測が出来なかつた。必要上に日本の銀行が騒いだ、或は心配で騒いだか、儲ける爲に騒いだか知りませんが、それが爲に到々金の輸出を再び禁止しなければならぬ状態となつて濱口さん井上さんの金解禁といふこと、即ちデフレーション政策が最後に完成しなかつたことは非常に残念であるが、それは不時の出来事があつた爲である。平和時代であつたらば松方侯がやられたやうに整理が出来たらうと思ふのであります。

#### ◇ 經濟事情と政策變化

そこで大義内閣になつて昨年十二月に金の輸出を禁せられました。其當時としては已むを得なかつたかも知れない。それを今批評する考はありませんが、其結果どうなつたかと云ふと、前の時には……大正六年の金輸出禁止は勝田さんがやられたが、爲替は餘り下らなかつた。一番ひどい時で三十八弗半で、大抵は四十弗以上にあつた、其時には免



換の停止はやらなかつた、それで儲かるから毎日々々十圓か二十圓宛兌換に來る人があつた。今度はどうかと云ふと、初めから兌換を停止したのであつて、爲替相場は非常に暴落してすく三十何弗かに下つた。前の禁止の時とは非常に事情が違ふのであります。前は日本に二十一億圓も金が入らうといふ時にやつたのであつて、今度は無くなつて四億三千萬圓になつてしまつた所でやつたのである。世界的不景氣であり、今後どうなるか分らぬといふ状態であるから、前途に疑を有つて居る時である。そこで前とは非常に違つて、金輸出禁止といふものは非常な深刻なる影響を日本の經濟界に及ぼしたのであります。そこで民政黨は從來デフレーション政策を割合主張して居つた。それが其當時の時勢に必要であつた爲に、非常に困難な事であつたけれどもそれを斷行して行つた。黨利黨略から云へば、濱口さんがあつた云ふやうにして金解禁をやらなかつた方が、民政黨としては安全であつたらう併し乍ら國を重しとして斷行せられたのであります。それが世界的不景氣の爲に完成出來なかつたのは残念であります。其結果四十九弗半から五十弗して居つた爲替が、今日

では二十弗になつてしまつた。即ち前の二倍半の金が要る譯であります。即ち今の二百五十圓は前の日本の紙幣の百圓と同じやうな譯でありまして、紙幣がそれだけ下落した譯であります。濱口さんが整理を始める前に爲替は三十九弗半から四十四・五弗の間を動いて居つた。恰度一割位の開きがあつた、それを四十九弗半まで返すのにあれだけ骨が折れた。今度二十弗に下つたのを五十弗まで上げやうといふことは、絶對不可能であります。若しさうなつたならば、極端なるデフレーションをやつて、さうして有價證券なんかを反古位にする覺悟でやらなければならぬ、今日はその必要があるのであります。もう新しい平價でやつて行くより仕方がないといふ状態になつたのであります。これは民政黨が主張するのではない、日本の現在がさうなつて居る、誰もが若し解禁するならば、元の平價でやることは不可能だといふことを認めて居るのであります。さういふやうに時勢が變つたから民政黨の政策にも自ら影響がある。これまでは金貨本位を維持すると云ふ前提にあつたから其前提の下にはインフレーションを避けねばならぬ。或程度のデフレーションをやらなけ



ればならぬといふことを言つて居つたが、今日はもはや金本位を破棄したのでありますから、前のやうなひどいデフレーションを要求する必要はなくなつた。或程度のインフレーションは差支ない、斯う云ふ世の中になつたのであります。又この不景氣を緩和する爲に或程度のインフレーションといふことは必要でもある、といふやうな觀念になつたから、今日は民政黨は前とは多少意見が變つて、インフレーションは或程度まで仕方がない。唯極端なる過度のインフレーションが危険である、それを避けたいといふのが今日の立場である。

そこで民政黨として新しい政策を今度定めました。小川郷太郎君や中島彌團次君あたりが委員になつて案を作られ、政務調査會にかけまして、色々議論もありましたけれども、十一月二十五日に大體決りまして、二十六日の朝の新聞に出て居りますから、皆さん多分御覽下さつたらうと思ふのであります。其内譯を申し上げますことは煩に堪えませんから其政策の内容は申し上げますから新聞で御覽願ひたい。併しどういふ根本政策であるかと

いふと、金輸出禁止の今日に於ては。前のやうなデフレーションは主張しない、現在の極端なる不景氣を緩和する爲に或程度のインフレーションを認める、併し乍らインフレーションといふものは、非常に濫に流れ易いから適當の程度で止めたい、即ち過度のインフレーションを避けたいといふのが今日の民政黨の立場であります。

#### ◇インフレーション本體の解剖

然らばインフレーションは、私が今危険だ危険だと云ふが、唯危険だと云ふだけではあなた方が充分御了解されぬかも知れぬから、こゝでインフレーションの事を申上げて見ますが、インフレーションを行ふと云ふことは、學校の教科書にあるやうでありますけれども即ち通貨を盛んに濫發することであり、通貨を濫發する結果は、どうしてもその對象となる品物の値が高くなる、貨幣價值の下落、即ち言ひ換へて見ますと物價が騰貴する随つて財産を有つて居る人は、例へば株式等もすつと値が高くなるのであります、物を



有つて居る人は儲かる、生産者は儲かる、農業者も工業者も儲かる、品物を拵へれば拵へるだけ儲かる、即ちインフレーション時代には得意である。インフレーションが進行して居る間は、生産原料品が段々高くなつても、拵へて賣る時分にはそれ以上に商品の値が高くなつて居るから、インフレーションの進行中はどん／＼儲かる、それであるから何處でも生産者、即ち農業者殊に工業者の人はインフレーションを非常に歓迎する、丁度これも國で奨励金を與へると同じ事であつて、金をやるのと變りないから、これらの人々が歓迎するのは當然であります。もう一つ儲かるのは借錢して居る人です。使つてしまつた人は仕方がないが、何かに投資して居れば財産は二倍三倍になつて借金も元通りである。だから借金してゐる人は非常に有難い譯であります。併し國內では左様に不當利得を得る階級が出来る反面に、爲替が非常に安くなるから、外國人から見ると、日本の品物を安く買ふ事になる。これまで百弗拂つて居たのを四十弗で買へると云ふことになる。故に日本の品物はどん／＼賣れる、丁度日本の品物を投資するのだから輸出商人は非常に仕事をや

り易い、今日非常に輸出があるのもそれが爲であります、さういふ譯であるからこれらの人々はインフレーションによつて非常に利益を受ける。それと同時に不利益を受ける人がある。役人とか恩給生活者とか云ふやうに、収入が一定の金額に定つて居る人は非常に損である。百圓の月給取はインフレーションがあつて、百圓の紙幣で從來の五十圓の購買力しかなくなつても百圓である。物の値が高くなるから買ふ方の人は損であるから、一般大衆消費者といふものは不利益である。そこで労働者は從來の賃銀では到底生活が出来ないといふことになつて、インフレーションが進行するとストライキが起る、併し賃銀引上に巧く成功した時分には、更により以上にインフレーションが進行して、折角上げて貰つたのが元の木阿彌になる、更にもう一度ストライキをやつて賃銀値上を要求する、丁度インフレーションの速度と鈍ごつこするやうな状態となるのであります。インフレーションをやつて居ると云ふと、表面は一圓といふ金であるけれども、實際は爲替が今まで六割下つて居るから四十錢と同じ事になつて居る。それであるから六割没収された譯である。日本



銀行が、政府が一般大衆に對して六割の課税を取つて居ると同様である。即ちインフレーションは一般大衆に對して見えざる所の租税を賦課して居るのであります。さうして其取つた租税は生産者或は債務者に奨励金をどん／＼やつて居ると同じ事である。損する階級の金を取つて、得する階級にやる。得する階級はそれが爲に儲かる、債権者は不利益である。金はモーメントを有つて居るが、若し米で換算すればすぐ分るのであります。例へば百五十圓の金を貸して居るとすると、石十五圓の時なれば十石取れる、而し米が三十圓になると五石より返して貰へない事になる。即ち物價の騰貴時代には債権者は損をする。金を貸すやうな人は宜いだらうと思ふけれども、當然商法によつて權利を有つて居るのを、知らぬ間に取られるのであるから不合理である。アメリカあたりでは考へて居るから契約書にちやんと書いてある、アメリカに財務官として居る間にいろんな契約を見ると、何年何月執行の貨幣法第何條によつて金一匁幾らの割で返済すると認めてあるから紙幣の値段が下らうと大丈夫である。併し日本では唯一百圓也と書いて置くだけのが多いから、今日

で云ふとアメリカの金貨で二十弗持つて行けばいゝ、併しアメリカの證文で行くと五十弗返さなければならぬ。日本でも此頃金を貸すのに、是は明治三十年貨幣法第何條によつて金一匁五圓の割合で返すといふことを書く人も出て來たが、一般に日本人はそこまで金銭勘定に鋭敏ぢやないから、唯一百圓也と書いてある、さうすると知らぬ間に誰かに取られてしまふ。さういふ譯であるから、インフレーションといふものは各種の階級の資産及び収入状態に大變化を與へる。それが爲に苦しむ者が出来る。殊に多數の民衆が最も苦しむところで非常な騒動が起るといふ譯であります。既にこの前の大正八九年のインフレーションで金解禁をやらなかつた爲に、米が一石五十圓になつて米騒動といふ奴が起つた。それはあの時だけでなく、インフレーションにつれて何時でも起ることである。デフレーションだとこれが正反對の形になる。物價が下落するから品物を持つて居る人は損をする。生産者、農業者は損をする、債務者は損をする、澤山の金を返さなければならぬから損である。其代り定額収入者、官吏などは大喜びである、一般大衆、労働者なども喜ぶ譯でありま



す。インフレーションとデフレーションは正反對の結果になる、併しデフレーションには自ら限度があるけれども、インフレーションには限度がない。何處までも行く、其一例を申上げると、最近インフレーションを最も極端にやつたのはドイツである。此事はあなた方インフレーションを御研究になつて居りますれば充分御存じかと思ひますが、或所で一寸話しました時の騰寫刷がありますからお上げ致します。

### ◇統計上より見た獨逸のインフレーション

一、歳 出(官業収支及賠償金ヲ除ク)	
一九二〇年度	一四五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇マーク
一九二二	八、二九二、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇マーク
一九二三	四八、七二五、七一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇マーク
一九二四	七、五〇五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇ライヒスマーク

### 二、國 債

一九一三年三月三十一日	四、九二五、〇〇〇、〇〇〇マーク
一九二二年	三三七、七六二、〇〇〇、〇〇〇マーク
一九二三年	六、六六一、〇七五、〇〇〇、〇〇〇マーク
同年末推定	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇マーク
一九二四年三月三十一日	二、四〇五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇ライヒスマーク

一九二三年末の千兆マークにも上りたるべき巨額の國債は最後に總價格僅に一千ライヒスマークとなり全部反古紙となれるも國債所有者の損害を賠償する爲國債を戦前及戦時より引續き所有する者の國債四百億マークに對し四十八億ライヒスマークの切換公債を交付せり。

### 三、銀 行 券

ライヒスバンクの銀行券發行高



一九一三年末

二、五九三、〇〇〇、〇〇〇マーク

一九二一年末

一一三、六三九、〇〇〇、〇〇〇マーク

一九二二年末

一、二八〇、〇九四、〇〇〇、〇〇〇マーク

一九二三年末

四九六、五〇七、四二五、〇〇〇、〇〇〇マーク

一九二四年末

一、九四一、〇〇〇、〇〇〇ライヒスマーク

舊銀行券一兆マークを一ライヒスマークとせり

#### 四、金 利

一九二三年秋には日歩二割即年七百三十割の割合に上れり

#### 五、物 價

鶏印一個一九二三年十二月六日 三千三百億マーク(平時は一マークの十分の一位)

#### 六、貸 銀

一九二三年十一月十七日 一時間當り 一千八百億マーク

先づ歳出を見ますと、特別會計其他賠償金などを除く一般行政費だけに付てゞありますそれが千九百二十年には千四百五十億マークであつた、それが二十二年には八兆二千九百三十億マークとなつた、此時にはインフレーションが大分進行した時であつた。翌年の二十三年になると一躍四億八千七百二十五兆といふ大きな數字になつて破産状態となつた。それで従來の紙幣を廢し一兆マークの金貨を一ライヒスマークとして一兆分の一にした。それで翌年は七十五億ライヒスマークとなつた。實質は違はぬけれども……國民の生活に非常な影響を與へる譯であります。國債はどうであつたかと申しますと、戦前即ち千九百十三年三月三十一日には四十九億マークであつた、所が戦争などで殖へまして、千九百二十二年には三千三百七十七億マークになつたそれが千九百二十三年の三月には六兆六千六百億マークとなり、其年の末の一番インフレーションの盛んな時には約一兆兆マークとなつた。そこで整理しなければならぬといふので、紙幣を一兆一マークとしたから、一兆兆マークの奴が新しく一兆兆マークの國債となつた。ドイツは戦争の爲に一兆兆マークも



二千兆マークも使ひましたけれども、一千マークで済んでしまった、一方から云へば安い戦争をした譯であります。併し國民は非常な苦痛を受けた譯であります。財政整理の爲に金貨本位を維持する爲に千九百二十四年の三月三十一日新に二十四億ライヒスマークの國債を出したが外債で從來の國債とは全然關係がない。それで眞面目に政府の證文だと思つて持つて居つた奴は全部反古にせられた。其爲喧しい騒ぎがあつたので政府も放つて置く譯にも行かず、戦時中からごん／＼繼續して政府の公債を持つて居る人、眞即目に國債を持つて居る人間には救済してやらねばならぬといふので、調査の結果四百億マークだけさういふ人があつた。それに對して四十八億ライヒスマークの切換公債を交付した、即ち百マークに付て十マークだけお情けに貰つた、賣買した者はスベキレーションをやつた譯だから保護する必要はないと云ふので、只反古にされてしまつた。インフレーションが如何に危険を孕んで居るかといふことはこれでも分る譯であります。銀行券に付て見ますと、ライヒスバンクの銀行券發行高は、戦争の始まる前千九百十三年末には二十五億萬マークで

あつたが、千九百二十一年末には千百二十六億マーク、二十二年末には一兆二千八百億マークとなり、翌二十三年末には殆ど言ひ現はせない數字で假に四億九千六百六〇億兆マークといふやうな數字になつた。これも反古同然となつて、翌年には十九億ライヒスマークとなつた。それであるからドイツのインフレーション政策を御調べになると、千九百二十三年前の統計といふものはない、あつても何の参考にもならない。金利はどうであるかと云ふと、毎日々々紙幣の價値が下落するから一割や二割で金を貸して居ては損する、それで千九百二十三年秋には日歩二割、年七百三十割といふことになつた、それでも一年借りて居ると七十三倍以上に下落するから貸し手がなかつた、インフレーションがひどく行つたらどれ位になるか分らぬ。物價に付て一つだけ申せば鶏卵一個が千九百二十三年末には三千三百億マークである、平時は一マークの一分の一位である。だから散髪して貰ふにも紙幣など持つて行つてもして呉れない、鶏卵を幾つか持つて行くどやるのである、随分ひどい物價の上り方をしたものである。貸銀はといふと、少々位宛上つたのではなかく／＼追



付かぬので、千九百二十三年秋には一時間當り千八百億マークとなつた。これも最初は前一ヶ月の平均で上げて行つたが、一ヶ月の間に物價がひどく騰貴するから、さうなると次の一ヶ月間は非常に困る、資本家に搾取される結果となるので一週間毎にした。まだいかにぬので毎日にした、終ひには一時間毎に呉れるといふ事にまでなつた、ドイツのインフレーションはさういふ状態であつたのであります。

### ◇インフレーションは是か非か

之を以て見て果して是で宜いのだらうかといふことを吾々は心配致すものである。左様にインフレーションといふものは幾らでも後から追つかけて、印刷局の製造力のあるつだけ紙幣を出すのであるから、貨幣價值が極端に下つて物價が上るのである。獨逸の先例が最も能く之を表はして居るのであります。インフレーションを行へば生産業者は利益を受け、定額収入者、労働者等は生活に困つて終ふのである。大學の先生などはスト

ライキをやらぬから一般労働者よりも俸給が悪くなる、私の兄弟が獨逸に行つて居つたが日本の金で一圓も出せば大したものが買へる、斯ういふ話があります。獨逸のインフレーション時代に獨逸中の本屋の本は皆日本人が買占めた、骨董品なども亞米利加人や日本人などが買占めたが、本屋に行つて本の一冊や二冊は馬鹿臭くて買へない。日本の金で一銭か二銭のもの、だから本屋にあるだけの本を全部買占めて其中に要らぬものがあれば捨てるといふ状態であつた、是ではたまらぬといふので、輸出制限をやつて一々政府の許可を得なければならぬやうにした。そこで日本人でも西洋人でも、獨逸人以外の外國人がお土産を持つて歸るのに、新しいカバンを買つて詰込んで行くと税關に引つかつて「カバンは輸出許可が出来ぬから中だけ持つて行け」と言はれて非常に困つたさうである。又、女などが着物を買つて行くと「此の着物は輸出許可は出来ぬ」からといふので裸體になつて着物を送るといふやうな状態になつたのであります。日本に於ては獨逸の先轍を繰返すやうな事はあるまいと思ひますけれども、インフレーションといふものは一度紙幣の價值が



下落しかけると限度がない。併しデフレーションに於てはチャンと貨幣の價格よりは上らぬのだから、即ち金一匁五圓以上には上らぬのであるから、自らそこに限度があります。インフレーションで行けば金一匁五圓のものは只今では八、九圓になつて居りますがどの邊迄行くか分らぬのであります。政府の財政に見ましても、インフレーションでどん／＼やりかけて借金をする、利子が拂へぬといふので又借金をして行く、恰度、借金と利子の追つ駆け合ひになるのであります。赤字が出るとそれを消すことが非常に困難になるのみならず、先に獨逸の例を申し上げました如く、インフレーションをやりかけると、恰度坂へ石をころがすやうなもので下に行けば行く程加速度となり、極端に行くのが例ひであります。といふやうな譯であるから、インフレーションは非常に危い、獨逸のインフレーションは賠償金の支出が一つの原因であるが、日本は賠償金はないけれども、多額の借金をして居ります。政府の國債だけでも十四億圓ある、其の利子が約七千四百萬圓拂はなければならぬ、前の解禁時代なれば假りに八千萬圓拂ふとするも、それが今度の爲替で拂ふと

どうなるかと云へば、濱口内閣の時八千萬圓日本の紙幣で拂へば良かったものが、今日は假りに爲替が二十五弗に下つたとすると、一億六千萬圓日本の通貨を拂はなければ、亞米利加の金貨の八千萬圓にならない。之が政友會の言ふ通り、十弗に下つたとすれば商賣人や生産業者は儲かるけれども、前の五倍即ち四億圓拂はなければならぬことになる。若し五弗に下れば、外國への利子だけでも八億圓支拂はなければならぬ。今日豫算が二—三四億になつたと云つて喧しいが、外債の利子だけでも八億圓拂はなければならぬといふ状態になれば、或人は増税をすれば可なりと言ふが、八一圓の増税が出来るかどうか心配である。是は豫算の問題であるが、正貨の問題に就て見ても、外國に對して八億圓拂ふだけの輸出超過があれば宜いけれども、それは到底期待出来ない事である。今日外國貿易が大分景氣が好いと云つて喜んで居りますけれども、それは日本の通貨で宜いのであつて、亞米利加の金貨に計算すると決して好くない。今日では爲替が半分以下に下つて居るから、半分位に評價せねば前の輸出超加に當らぬのであります。非常なる輸出超過がなければ前の



八千萬圓、今日で云へば一億六千萬圓、若し爲替が一弗に下れば四億圓、さういふ輸出超過は却々出来ない。さういふことを外國人は考へて、日本の公一は危険なりと考へて居る一週間程前のロンドンの或る新聞で「日本の公債を持つて居るのは危険である」と書いてあつた。外國人から見れば、日本が此の調子で爲替相場が下つて行つたならば、果して外債を拂ひ得るだらうかといふ心配を持つらしい。吾々はさういふことは考へて居らぬし、さういふことをさせてはならぬと喧しく言つて居る次第であります。外國人が心配するのも無理からぬのでありますが、結局、インフレーションは怖いものであると吾々は考へて居る、そこで今日に於ては非常に財界が不景氣であるから、之を助ける爲にインフレーション政策を採るのは已むを得ないと思ひますけれども、それには自ら程度があつて、インフレーションをやれば宜い、爲替が十弗になつても構はないといふ遣方では前途非常に恐るべきではないかと思ひます。

少し歴史談が長過ぎまして御退屈であつたかと思ひますが、今日迄の我國の財界の状況

を申上げて、インフレーションといふものに對する民政黨の考を多少申上げた心算であります。若し御参考になりましたらば大變幸福に存する次第であります。(拍手)——終り——



◇ 會員クラブ ◇

◇新會員御紹介 (御入會順)

伊藤 正弼氏 (奈良) 陸軍歩兵大佐 奈良歩兵第三十八聯隊長  
池田 幸久氏 (大阪) 南海電鐵株式會社  
桂 定一氏 (同) 帝國製麻株式會社大阪支店  
堀川利三郎氏 (同) 同  
橘 徹氏 (東京) 世田谷區下北澤  
神谷 淺次氏 (同) 陸軍歩兵軍曹 近衛歩兵第一聯隊第六中隊  
中西 清郎氏 (千葉) 鐵道官吏  
小野 厚省氏 (京都) 陸軍豫備歩兵少尉

島内 松秀氏 (東京) 陸軍歩兵中佐 青山師範學校教官  
古館軍次郎氏 (同) 淀橋第一小學校  
秋田 嘉敏氏 (同) 淀橋第六小學校  
山納 三吉氏 (同) 淀橋第四小學校  
鈴木 藤一氏 (静岡) 農業  
齋木 義文氏 (東京) 神田千櫻小學校  
小林 幟氏 (同) 臨川小學校長  
内藤 忠三氏 (同) 戸山小學校  
岩下 秋夫氏 (同) 淀橋第二小學校  
西澤 孔照氏 (同) 板橋第五小學校  
國井 秀作氏 (同) 豊島區役所保健士木課長  
塚本三太郎氏 (同) 淀橋區役所會計課長



## 本會の事業

一、毎月二回講演パンフレットの發行

(會費年額四圓八十錢)

一、圖書出版

一、速記引受(講演、研究会、座談會、會社總會その他) 速記科はその都度御相談いたします

一、講師紹介

一、健康相談、會員に限り無料にて御相談に應じ醫學博士本間英史先生の懇切なる御回答を差上げます

一、講演會開催

## 編輯便り

本會も漸くにして昭和八年の元旦即ち生れて此處に最初の元旦を迎へました、此れも皆會員諸彦の御後援の賜と感謝いたす次第であります。本年は創立第一回の元旦でもあり、種々行き届かぬ爲に會員諸彦に新年の賀状も發送するに至らず缺禮いたしました、誠に申譯御坐いません、不惡御了承の程御願ひいたします。

本號は民政黨代議士前大藏次官田昌氏のインフレーションと商品界を掲載いたしました第十三號

の大口喜六氏の「現下の財政經濟に就て」と比較して見る時、吾人は兩大政黨の政策の相違を知る事が出来ると思ふのであります。

田昌氏は人も知る民政黨に於て小川郷太郎氏等と並び稱せられる人、その閱歷に於て又その素養に於て或は又その人格に於て、共に吾人の私淑惜かざる方でありませう、今此處にその名講演を載せ得て甚だ欣快に堪へないのであります、巷間種々なる講演集も發行されて居るのであるが、本會發行の講演集こそかゝる時宜に適したる有益なる講演を載せ得るのであると自負して居るのであります。

次號にはより有益なる講演を掲載する豫定で原稿の整理中でありませう、何卒御期待下さい。

昭和八年！ 新しき吾人の活躍の舞臺は今その幕が繰り揚げられた、旭日燦然と輝くその舞臺に吾人は健全なる歩調を以て闊歩して行かなくてはならぬ、會員諸賢、吾人は此處に吾人の初志貫徹を誓ふと同時に倍舊の御後援と御支持をひたすらに御願ひ申上げる次第であります。



贊助員

龜岡商會主 大森院部長 辯護士 著述家 篠原病院長 辯護士 青山學院 辯護士 齒科醫院 日本橋區役所會計課長 光ヶ丘診療所長 醫學博士 醫學博士 日清製油株式會社橫濱支店 法學士 前關西大學教授 文學士

(順序不同)

龜岡 新熊 谷村 唯一郎 昇曙 夢 篠原 純治 西元 禎 中村 元 羊 石原 款 冬 林辰 二 前田 宗之助 本間 英史 幸田 友惠 森田 敏氏 櫻井 匡氏

不許轉載

昭和八年一月十二日印刷  
昭和八年一月十五日發行

(非賣品)

東京市芝區琴平町三十四番地

發行人 嘉藤友惠

東京市芝區琴平町三十四番地

編輯兼印刷人 原誠一

東京市牛込區市谷本村町卅四番地

印刷所 文英堂

東京市芝區琴平町三十四番地

發行所 東京中央講演會

電話芝(43)二五〇四番  
振替東京一一二九二番



